

授業科目名	【G】 【EF】	教育行政学 教育行政学	区分	開講年次	【G】2 【EF】2	単位数	【G】2 【EF】2
科目区分	教育の基礎的理解に関する科目						
授業形態	対面授業						
担当形態	単独	【G】 【EF】	教員の免許状取得のための必修科目 教員の免許状取得のための必修科目				
施行規則に定める科目区分又は事項等	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)						
サブタイトル	制度、法律の視点から<教育>を捉える			担当者	佐々木 竜太		
授業概要	【概要】	一般に教育は社会の諸関係が生み出すメカニズムに支配され、また社会の人びとの意識によって媒介されながら有機的に生きていとされる。教育行政学ないし教育行政研究とは、制度の視点から教育の問題を考えるのが特徴である。					
	【到達目標】	①社会環境の中に存立する教育を生み出した人びとの意識を誘導した教育制度に着目する。 ②学校教育論を中心に制度としての教育について考える能力を身につける。 ③社会状況に対応した教育動向に着目する。					
履修条件	教育原理、教育心理学、単位取得者を前提とする。						
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	— (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	— (当てはまらない)					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)					
他科目との関連性	教育原理、教職論						
教科書	適宜資料を配布する。						
参考書	『民主主義は最高の政治制度である』現代書館。『資本主義のパラドックス』新曜社。						
評価方法	授業中に複数回行なう小テスト(90%)、受講意欲・態度(10%)で評価する。						
フィードバック方法	オンラインの場合は、レポート返却の時個別にコメントし、全員に模範解答を返却する。対面の場合は、毎回授業終了前にチェックテストをおこない、回答後解説する。						
評価基準	S・A: 授業内容をよく理解しており、応用力もある、B: 授業内容を理解している、C: 最低限の基礎力を備えている、D: 基礎力が不足している、E: 基礎力が著しく不足している、F: 評価不能。						
その他	授業ごとの予習・復習時間は、各90分程度を目安としてください。						

授業科目名	【G】	教育行政学	区分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【EF】	教育行政学			【EF】2		【EF】2
授業回数	授業内容						
1	教育行政の歴史と現状分析 予習：教育行政について調べる。復習：歴史的変遷の確認。						
2	現代の学校教育に関する社会的・制度的理解 --- 教育行政組織と学校教育 予習：教育制度とは何かを考える。復習：制度としての学校について考える。						
3	現代の学校教育における経営的理解 --- 学校の目的と学校教育の目標 予習：学校経営について整理する。復習：学校経営の目的と目標を明確化する。						
4	公教育の原理と理念 --- 学校の公共性と学校の設置者 予習：公共性について調べる。復習：学校、公共性、設置者について説明する。						
5	学校の設置に係る基準 予習：設置基準を確認する。復習：基準の妥当性を考える。						
6	設置者管理主義と設置者経費負担主義 予習：管理について整理する。復習：管理者としての設置者について考える。						
7	校務と学校運営の組織 予習：校務の意味をまとめる。復習：校務と学校運営の関係を整理する。						
8	学校と地域との連携の意義 --- 学校運営協議会と学校評議員 予習：協議会と評議員の違いを確認する。復習：連携、協働による学校教育活動について整理する。						
9	学校安全への対応に関する理解 --- 学校保健と学校安全 予習：学校保健安全法の意味を調べる。復習：危機管理マニュアルを整理する。						
10	教育委員会の組織 予習：教育委員会について調べる。復習：委員の職責を確認する。						
11	教育委員会の性格と職務 予習：委員会の構成を調べる。復習：構成を整理する。						
12	教育委員会の設置機関 予習：委員会の設置に関して調べる。復習：設置期間を整理する。						
13	教育委員会の権限 予習：教育委員会の機能範囲を調べてみる。復習：機能範囲をしっかりと確認する。						
14	教育委員会と社会教育 予習：教育委員会と社会教育との関係を調べておく。復習：社会教育の視点から教育委員会のあり方を考えてみる。						
15	教育システム再考 予習：教育の完成可能性への疑義を再確認する。復習：自明視された教育システムを疑ってみる。						